



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2025.3 > BULLETIN 2024年7月~2025年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 村杉 一榮
会計 小仁 恵子
監査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みづき

国際会長 A・シャナヴァスカーン 「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛士郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

3 月度

苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。

(ローマの信徒への手紙 5:3-4)

*** 世界で飢えて苦しんでいる人たちへ希望を届けよう**

2025年3月 例会

日時: 2025年3月19日(水) 18:00 ~ 20:00

場所: 東京YMCA東陽町センター

★進行:青木メン、 受付:柿沼メン、

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
会長挨拶	樋口 会長
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
聖句・お祈り・食事	西澤 メン
卓話	千葉クラブ会長 青木 清子メン
～テーマ「ノーベル平和賞応援ツアーに参加して」	
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	今回はなし
閉会点鐘	樋口 会長

★お弁当注文の都合上、ご出席者は3月15日までにかならず
青木メン宛ご連絡ください。ご協力おねがいします。

【例会出席率】 在籍:16名 2月出席率6/13 46%

出席:2月 (メン6名、メネット0名) 計6名

【ニコニコ】 ¥9,000

第91回 神田川船の会®

2025/5/10(土)開催 少雨決行
今回は新ルートです



- ▲ 神田川船の会」は 1979 年(昭和 54 年)にスタートして今回で 46 年目、91 回の開催です。
- ▲ 昭和、平成、令和と、下町河川の浄化と護岸の緑化を願いながら、川筋に残る江戸文化、町づくりの歴史を紹介してまいりました。江戸・東京の町づくりの歴史とその名残り、近年の河岸の変貌をご覧ください2時間のクルーズです。 詳細のご案内は、次ページをご覧ください。

(前ページから続く、)

◆第91回 神田川船の会のご案内

▲ 周遊ルート

今春は、浅草橋～[神田川]～三崎橋～[日本橋川]を経て、永代橋から[隅田川]へ下り出て、勝鬨橋でく折返し、上流は浅草・吾妻橋を越え桜橋でく折返し、柳橋から[神田川]へ戻るルートを運行します。(水位や波・風
の状況でルートを変更する場合があります。)

▲ 開催日 2025年5月10日(土) 少雨決行

▲ 乗船便

- 午前便 2艘 (募集人員 75名) 出航:10:00
- 午後便 2艘 (募集人員 75名) 出航:13:30

▲ 集合場所 浅草橋・船宿「三浦屋」前の広場 * JR総武線/浅草橋駅東口 徒歩2分

▲ 参加費

- ◆大人 3,800円/名*消費税込み
- ◆小・中学生 2,000円/名*消費税込み冊子なし

▲ 申込先 東京YMCA 神田川船の会 事務局 QRコード(下)からお申込みください。



(Eメールでも受付いたします。)

kandagawa@tokyoymca.org

▲ 申込締切 2025年4月15日(火)*当日必着

(クラブ担当主事:柳原 記)

◆2025年2月例会報告



日時: 2025年2月19日(水) 18:00~20:30

場所: 東京YMCA東陽町センター

出席者: 6名、青木、柿沼、小仁、西澤、村杉、柳原各メン

ビジタ: 本川悦子(西)篠原文恵(西)小原史奈子(たんぽぽ)各メン

▲ 概要

樋口会長急ぎよ欠席のため、青木副会長が代行しました。TOF 例会なのでいつものお食事ではなく、簡単なお弁当をいただきました。

▲ 卓話

卓話者: 西澤紘一メン

卓題: 「一柳米来留氏とYMCA」

(一柳米来留=ウィリアム・メル・ヴォーリス氏の和名)

- 近江八幡は豊臣秀次がお城を建てた小さな田舎町で現在の人口は5万人ぐらい
- ヴォーリス氏(1880-1964)は1905年来日し2年後近江八幡 YMCA を建てた。
- 1941年日本国籍を取得し日本人となる覚悟をした。教会で結婚式をし、八幡神社にも報告し、日本人よりも日本人らしいリアリストでありベラリストであった。
- 最初は県立八幡商業学校の英語教師として米国 YMCA から日本 YMCA を通して赴任した。
- 英語授業も人気があったが聖書の話もするようになり、多くがキリスト教に関心をもつようになり、町の人々から不快感を示されるようになる。
- 病気になる米国に帰って治療した。その時文部省から解雇の通知を受けたが生活基盤である近江八幡に戻り YMCA 会館を完成させた。
- 彼は徹底的に努力して倒れるまで尽す人だったので周りの人々の助けがあり巻き込んでいった。
- 米国での支援者でメンソレータムの発明者が、日本で作りなさい、と近江兄弟社を創立し多くの利益を得たが、それを教会や YMCA に献金した。後にビジネスと信仰のバランスをとることが難しくなりロート製薬に譲渡することになったのは残念である。
- 満喜子婦人と結婚したことで、周りの人々の縁を得て多くの建築を手がけることになった。
- ヴォーリス氏は「協」という字を好んで、体力、知力、霊力の3つの力と十字架を合わせたこの字はまさに YMCA のマークそのものであると結んだ。

(村杉 記)

▲ ニコニコひとこと:

- ◆ 柿沼敬喜メン: 暮れに入院しましたが良性で安心した。
- ◆ 村杉一榮メン: 大雪で各地が被害に遭い大変なのに東京は毎日快晴で申し訳なく思います。
- ◆ 小仁恵子メン: 免許返納の手続の際、免許証が見つからず財布を落としたことが分かり、どうしようと思いましたが拾って下さる方があり無事手許に戻り、感謝
- ◆ 本川悦子メン: 合同例会で楽しくしています。
- ◆ 篠原文恵メン: ヴォーリスさんのお話を楽しみにまいりました。
- ◆ 小原史奈子メン: にはほんご学院スピーチコンテストに出席し、着なくなったスーツを学生さんが着てくれるとのことで持ってきました。
- ◆ 西澤紘一メン: 芥川賞作家の本を読んでいます。いつかお話したいです。
- ◆ 青木方枝メン: 樋口会長に代理をたのまれていたのに四文字熟語に夢中になり、時間を見て驚き大慌てで来たので財布を忘れたことに今気付き、借りてニコニコに入れました。(村杉 記)

▲ ハッピーバースデー:

柿沼敬喜、高谷禎宣、西本東司、西本晃子、
新倉雅隆各メン

(小仁 記)

◆2025年2月第二例会（役員会）報告

日時：2025年2月12日(水) 15:00~16:30 Zoom

出席者：青木、小仁、西澤、目黒、柳原、樋口各メン

▲主な決定事項(2月19日例会配布資料より)

- ① 3月19日(水)3月例会卓話:青木清子様(千葉ク)
- ② 5月10日(土)第91回神田川船の会(目黒)
 - 1) 料金改定 船代大幅UPのためやむを得ず 現行(大人)¥3,500→¥3,800とします。
 - 2) 新コース(桜橋まで北上):P2のとおりとします
- ③ 2月22日(土) 陽春の集い(東陽町)13:30~
青木、村杉、出席 10:30~
- ④ 3月1日(土) 東進部 EMC セミナー(東陽町)13:30
- ⑤ 3月8~9日次期会長役員研修会(東山荘)
小仁メン代理出席(私用により樋口欠席)
- ⑥ 8月1日~3日第31回アジア太平洋地域大会
in 熊本城ホール ~ドットコム配信のとおり
★申し込み締切りは7月11日のため、後日クラブ
でまとめて登録します。
★飛行機や宿泊場所の手配は、これとは切り離し、
各人をお願いします。
- ⑦ 4月5日(土) 関東東部 EMC 企画江戸城ウォーク
(8000歩程度) 別途ご連絡します。
「大名が江戸城に登城するときのルートをたどる」
- ⑧ W4W:皆で一斉にゴミ拾いする運動(主に4月)
★5月10日「神田川船の会」終了後に三浦屋周辺の
ゴミ拾いする、(参加自由)
- ⑨ 6月7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)
★申し込み締切り:5月15日
- ⑩ 3月16日(日) ワイズナイトフォーラムII
Zoom20時~21時30分
他クラブのCS活動を知るのは勉強になりますので、
お時間よろしければご参加ください。
 - 1) 障害者フライングディスク大会(富士五湖)
 - 2) 年賀ハガキコンテスト(熱海)
 - 3) 音楽を通して社会にアピールを
(大和クリエイティブYサービス/湘南・沖縄部)
(樋口 記)

◆4月合同例会のお知らせ(日程変更にご注意)

(江東、グリーン、ひがしクラブによる3クラブ合同例会)

日時:2025年4月17日(木)時間未定

場所:未定(後日連絡いたします)

卓話者:東京YMCA新総主事、星野 太郎 様

卓題:(仮)「YMCAとワイズとの関わり」

(樋口 記)

◆3月例会卓話のご案内

ぜひお気軽にご参加ください。

卓話「ノーベル平和賞応援ツアーに参加して」

卓話者 千葉クラブ会長 青木清子メン

日時:2025年3月19日(水)18:00~20:30

場所:東京YMCA 東陽町センター

- ① 青木メンは平和活動にも積極的に取り組んでおられ、昨年12月にノーベル平和賞の授賞式を観覧するためオスロを訪れました。
- ② オスロ滞在中、意義深いプログラムがあり、充実した時間を過ごされました。

◆講師 プロフィール

- ・青木清子メンは広島で生まれ、4歳の時に入市被爆



(にゅうしひばく)を経験されました。被爆の影響を受けながらも、その後の人生を通じて平和の大切さを次世代に伝える活動を続けられています。

- ・現在は千葉県原爆被爆者友愛会の理事、市川被爆者の会の事務局長を務めていらっしゃいます。
- ・教育者としての活動としては、美術教師として、小学生・中学生を教えた後、現在はYMCA 高等学院で講師として美術教育を続けられ、次世代の育成に尽力されています。(小仁 記)

◆2025年3月第二例会(役員会)予告

日時:2025年3月12日(水) 15:00~17:00 Zoom

主な議題: 1) 4月、3クラブ合同例会

2) 「神田川船の会」運営関係

3) その他

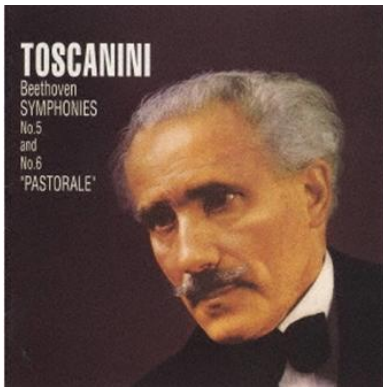
(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 3月16日(日) ワイズ・ナイトフォーラムII (Z)20:00
- 2) 3月19日(水) 3月例会(東陽町)18:00~
- 3) 4月5日(土) 関東東部 EMC 企画江戸城ウォーク
- 4) 4月10日(木) チャリティーゴルフ大会(PGM 総成)
- 5) 4月17日(木) 4月例会(3クラブ合同)
- 6) 4月30日(水) 神田川直前例会(和泉橋区民館)14
- 7) 5月10日(土) 第91回神田川船の会(浅草橋)
- 8) 5月14日(水) 5月例会(東陽町)18:00~
- 9) 5月17日(土) 関東東部評議会
- 10) 5月24日(土) 第22回会員大会(山手センター)
- 11) 6月7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)
- 12) 8月1日(金)~3日(日)アジア太平洋地域大会(熊本)

VIVA CLASSICAL

熱いエネルギーをもらおう
ベートーヴェン交響曲第5番



L.v.ベートーヴェン作曲(1770-1827)

交響曲第5番ハ短調作品67「運命」(1808)

指揮:アルトゥーロ・トスカニーニ (1867-1957)

NBC 交響楽団(1952年モノラル録音)

ベートーヴェンは闘争、勝利、歓喜といった「思想」を音楽により表現をした最初の作曲家だと言われています。

その代表作が「ダ・ダ・ダ・ダーン」の交響曲「運命」です。以来世界のひとびとはこの曲から熱いエネルギーをもらい続けてきました。

但し「運命」はアジア圏だけの表題(中国では「命運」)で、「運命はかく扉を叩く」とベートーヴェンが説明したというのは弟子による作り話だというのが一般的です。

この作曲の背景には、フランス革命、ナポレオン戦争を契機に貴族が没落し、市民階級が台頭する時代を反映したものと捉えることもできます。(その頃日本は江戸時代後期文化文政の時代です)

わたしの曲のイメージを下記します。

第1楽章:運命のテーマと穏やかな第2テーマとの葛藤

第2楽章:ゆったりとした変奏曲。感情の起伏がはげしい。

第3楽章:ホルンによる運命のテーマが戦いののろし。

第4楽章:第3楽章から続いて盛り上がる大勝利の叫び

思い出 CD:20世紀最高の指揮者といわれたトスカニーニ指揮 NBC 交響楽団による、手に汗握る演奏です。

トスカニーニは1867年北イタリア、パルマに生れ、ムッソリーニやヒトラーを嫌って米国に移住しました。

当時米国NBC社はトスカニーニの演奏をラジオ放送することを主目的に1937年NBC交響楽団を創設しました。

彼はシゴキ上げ、数々のレコード録音、ラジオ放送で名演奏を残しました。このCDはその中で出色の一曲です。

(樋口 記)

YMCA コーナー

1. 1月22~23日「東日本地区YMCAスタッフ研修会」が「現代のガリラヤを訪ねるシリーズ」として福島で開催され、東日本地区の各YMCAの職員33人(内東京YMCA職員6人)が参加した。金迅野牧師(在日大韓基督教会横須賀教会)が講師をつとめ、原子力災害伝承館他、東日本大震災の原子力災害関連施設を巡り、キリスト教理解を含めた多角的な学びの機会となった。
2. 2月1日、会員部主催の「ソシアスフォーラム 2024」が山手センターで開催され、会員、職員、学生、ボランティアなど、83名が参加した。前半は、是常景子氏(東京YWCA青少年育成事業部)と江尻明子氏(東京YMCA多文化共生スペース▽)から、日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたちの置かれた現状や、それぞれの団体の取組について講演を聞いた。後半は、社会体育・保育専門学校及び国際ホテル専門学校の学生から、能登半島地震と豪雨の被災地支援ボランティアの報告があった。また同日、250万円を目標に外国にルーツのある子どもたちを支援するクラウドファンディングを開始した(4月18日まで)。
3. 2月3日、「第900回記念早天祈祷会」が山手センターで開催され、46名が参加した。古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会・東京YMCA評議員会会長)に「中年のおじさんが…」と題して説教をいただいた。祈祷会後は、朝食をともにしながら、近況や早天祈祷会の思い出などを分かち合う懇談会を持った。なおこれまでの早天祈祷会の歴史をまとめた『900回記念早天祈祷会記録集』を発行し、当日配布した。
4. 今後の主な行事予定
 - 1) 「YMCAピンクシャツデー2025」(いじめ反対運動) 2月26日
 - 2) 「国際協力一斉街頭募金」3月22日 新宿駅周辺
 - 3) 「総主事就退任式」3月29日 会場:霊南坂教会
・司式:古賀博牧師(評議員会会長/早稲田教会)
・奏楽:飯靖子氏(理事/霊南坂教会オルガニスト)
 - 4) 「第34回チャリティーゴルフ大会」4月10日
PGM総成ゴルフクラブ
 - 5) 「第22回会員大会」5月24日 山手センター
5. 埼玉YMCAでは総主事が交替した。(2月1日)
・小谷全人総主事退任 太田聡総主事就任
(クラブ担当主事:柳原 記)